

平成18年度事業報告

北海道・東北未来戦略会議

I. 国際観光プロモーションの推進

本事業では、戦略的に外国人観光客を誘致するため、海外（上海・台北）に「北海道・東北プロモーションオフィス」を試験的に設置し、北海道・東北地域の観光情報の提供や商品化のためのマーケティング等に取り組むことにより、日常的・継続的な国際観光のプロモーション活動を実施してきた。併せて、「国際観光プロモーション検討部会」を設置し、本オフィスの活用策や本地域にとって望ましいプロモーションのあり方等について検討を行ってきた。

なお、本事業は、平成18年度暫定事業であり、今後は「東北観光推進機構（仮称）」での実施事業として取り扱うことが期待できることから、過去4年間の活動の概要について報告する。

1. 国際観光プロモーション検討部会の開催状況

- (1) **第1回検討部会**（平成15年 5月23日／仙台市・セントレ東北10階）
 - ◇国際観光プロモーション検討部会の運営について
 - ◇北海道・東北プロモーションオフィスの運営・活用について
 - ◇各道県の国際観光プロモーション事業について
- (2) **第2回検討部会**（平成15年 9月11日／仙台市・セントレ東北10階）
 - ◇北海道・東北プロモーションオフィスの運営・活用について
 - ◇今後の検討の方向性について
- (3) **第3回検討部会**（平成16年 1月20日／仙台市・セントレ東北10階）
 - ◇平成15年度の活動状況報告
 - ◇北海道・東北プロモーションオフィスの評価に関する調査結果について
 - ◇WTF（上海世界旅游資源博覧会）参加への対応状況について
 - ◇平成16年度事業について
- (4) **第4回検討部会**（平成16年 6月 2日／仙台市・セントレ東北10階）
 - ◇北海道・東北プロモーションオフィスの運営・業務委託等について
 - ◇各道県のインバウンド事業（海外からの誘客事業）について
- (5) **第5回検討部会**（平成16年 9月 6日／仙台市・セントレ東北10階）
 - ◇新規事業「北海道・東北 Mail News」の発信のあり方、テーマ等について
 - ◇北海道・東北プロモーションオフィスの活動状況報告
 - ◇北海道・東北プロモーションオフィスの常設化について
- (6) **第6回検討部会**（平成17年 1月26日／仙台市・セントレ東北10階）
 - ◇平成16年度の活動状況報告
 - ◇北海道・東北プロモーションオフィスの対応状況報告ならびに評価について
 - ◇平成17年度事業について

- (7) **第7回検討部会**（平成17年 6月 9日／仙台市・セントレ東北10階）
 - ◇北海道・東北プロモーションオフィスの運営・業務委託について
 - ◇各道県のインバウンド事業について
- (8) **第8回検討部会**（平成17年 9月29日／仙台市・セントレ東北10階）
 - ◇北海道・東北プロモーションオフィスの活用状況について
 - ◇北海道・東北プロモーションオフィスのあり方について
 - ◇交流文化産業コンソーシアムの取組みについて
- (9) **第9回検討部会**（平成18年 2月13日／仙台市・セントレ東北10階）
 - ◇北海道・東北プロモーションオフィスの評価について
 - ◇平成17年度の活動状況報告
 - ◇平成18年度への対応について
- (10) **第10回検討部会**（平成18年 6月22日／仙台市・セントレ東北10階）
 - ◇国際観光プロモーション検討部会の運営について
 - ◇北海道・東北プロモーションオフィスの業務委託について
 - ◇各道県のインバウンド事業について
- (11) **第11回検討部会**（平成19年 3月16日／仙台市・ホテル仙台プラザ）
 - ◇国際観光プロモーション検討部会 事業報告（総括）

2. 「北海道・東北プロモーションオフィス」委託業務の実施状況

- ◇**業務委託**：「北海道・東北プロモーションオフィス（上海・台北）」を民間企業の海外拠点を活用する形で試験的に設置し、以下の業務を通じて、本地域における国際観光プロモーション事業を支援した。
- ◇**委託先**：株式会社ジェイアイシー東北支店
- ◇**委託額**：5,000,000円／年

(1) 「北海道・東北 Mail News」の発信（平成16年6月から毎月1回配信）

北海道・東北プロモーションオフィス（上海・台北）から、現地の旅行会社等に対し、旅行商品造成の素材となる「季節毎の観光情報と写真」を中国語（簡体字・繁体字）で発信した。

【「北海道・東北 Mail News」に対する現地の評価】

- ◇「Mail News」で、最新の情報を提供できることから、現地の旅行会社等に対して、北海道・東北地域のアピールが容易になった。併せて、現地旅行会社等とのコミュニケーションも容易になった。
- ◇現地では、電子メールやホームページによる電子情報が情報伝達手段として大いに活用されていることから、「Mail News」に寄せられる期待は年々高まりを見せた。

【「北海道・東北 Mail News」各月情報テーマ】

	情報テーマ		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度
5月	—	夏の情報	夏の情報
6月	紅葉と温泉	夏秋の情報	秋の情報
7月	秋の味覚と温泉 1	秋の情報	中秋節・国慶節への情報
8月	秋の味覚と温泉 2	秋冬の情報	秋の味覚・特産物・観光情報
9月	冬の観光・リゾート情報 1	春節向けの情報 1	春節向けの情報 1
10月	冬の観光・リゾート情報 2	春節向けの情報 2	春節向けの情報 2
11月	冬のイベント情報 リゾート・スキー情報 1	冬のイベント情報 リゾート・スキー情報 1	温泉・食・味覚・体験型観光
12月	冬のイベント情報 リゾート・スキー情報 2	冬のイベント情報 リゾート・スキー情報 2	春の観光情報
1月	春のイベント・花と緑 1	春のイベント情報 修学旅行先となる施設 見学先の情報	春の観光情報 (花・緑・リゾート)
2月	春のイベント・花と緑 2	労働節(5月1日～7日) 向けの情報 Vol.1	労働節(5月1日～7日) 向けの情報 Vol.1
3月	自然と触れ合う新緑の大地	労働節(5月1日～7日) 向けの情報 Vol.2	労働節(5月1日～7日) 向けの情報 Vol.2

(2) 北海道・東北地域の定期観光情報の発信およびニーズ把握

北海道・東北プロモーションオフィス(上海・台北)のスタッフが、定期的に現地の旅行会社等を訪問し、地域の観光情報等を定期的に提供するとともに、その結果は毎月、報告書として提出した。併せて、現地の旅行商品情報や顧客動向等の情報収集ならびにニーズ把握に努めた。

(3) 北海道・東北を目的地とする旅行商品造成に向けた対応

◇中国(上海周辺地域)ならびに台湾から北海道・東北地域への旅行商品造成に向けての情報発信等の働きかけを行った。

◇上海オフィスでは、「中国人訪日団体観光旅行の査証発給対象地の拡大(平成17年7月)」に伴い、上海以外に大連・南京・杭州・広東省に対してもプロモーション活動を実施し、各地の旅行会社等とのネットワーク形成に努めた。

【上海オフィスによる企画商品】

平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 北海道・東北（青森・岩手・宮城）・東京5泊6日 ② 異国で新年を迎える東京・福島（スパ・ハイアンス）5日間 ③ 日本北国（北海道・岩手・宮城・東京）風光6日間 ④ 福島・山形3泊4日
平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 東京・福島5日間 ② 東京・福島5日間（果物狩） ③ 日本本州北海道豪華5日間 ④ 日本新潟東京5日間 ⑤ 日本福島東京5日間
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 東北（福島・宮城・東京）ツアー（定番化） ② 東京・東北（宮城・岩手）・北海道ツアー ③ 北海道チャーター便 ④ 北海道ラベンダーツアー ⑤ 東京・福島・宮城・北海道ツアー ⑥ 国慶節期のツアー（東京・福島） 上海成年旅行社 ⑦ 国慶節期のツアー（東京・福島） 広之旅国際旅行社 ⑧ 北海道ツアー（北海道 in・out） ⑨ 上海城市ホテル インセンティブツアー（東京・新潟・宮城・北海道） ⑩ 新潟チャーター便 ⑪ 教育旅行（九州・東京・宮城） ⑫ 春節期教育旅行（九州・大阪・東京・宮城） ⑬ ゴルフツアー（東北各地）
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 春節東京・仙台・福島ツアー ② 冬休み新潟修学旅行団

【台北オフィス】

既に、台湾では海外旅行商品は成熟化しており、北海道・東北の商品が数多く販売されている。こうした中、台北オフィスでは、現地旅行会社等に最新の情報提供を随時行い、旅行商品の造成支援に努めた。

(4) 旅行商品造成件数の把握

中国（上海周辺地域）ならびに台湾において、北海道・東北地域を目的地として造成された旅行商品件数は次のとおり。（新聞広告掲載件数）

（上海）

	合 計	北海道	青 森	岩 手	宮 城	秋 田	山 形	福 島	新 潟	東 京
H15 年度	4(4)	2(2)	1(1)	1(1)	2(2)	0	1(1)	2(2)	0	3(3)
H16 年度	31(5)	25(1)	0	0	3	0	0	2(2)	2(2)	27(3)
H17 年度	44(10)	26(1)	0	0	5(3)	0	0	9(5)	10(6)	29(10)
H18 年度	48(5)	36(1)	1(1)	1(1)	15(1)	1(1)	0	6(1)	5(5)	31(3)

※H18 年度は、4 月～12 月までの累計。

※（ ）内は、オフィスが商品造成に関与した件数（再掲）。

（中国全土）

	合 計	北海道	青 森	岩 手	宮 城	秋 田	山 形	福 島	新 潟	東 京
H17 年度	416	379	8	20	57	2	0	34	24	322
H18 年度	395	360	24	24	46	16	0	29	16	365

※H18 年度は、4 月～12 月までの累計。

※H15 年度・H16 年度は、調べなし。

（台北）

	合 計	北海道	青 森	岩 手	宮 城	秋 田	山 形	福 島	新 潟	東 京
H16 年度	96	61	30	37	34	32	13	14	1	11
H17 年度	80	47	17	28	29	16	10	4	5	13
H18 年度	54	18	16	24	24	18	9	9	8	10

※H18 年度は、4 月～12 月までの累計。

※H15 年度は、調べなし。

（台北ーチャーター便）

	合 計	北海道	青 森	岩 手	宮 城	秋 田	山 形	福 島	新 潟
H17 年度	1541	1220	65	91	0	61	1	11	92
H18 年度	1763	1519	27	61	18	48	2	32	56

※各道県観光部局調べ。

※H18 年度は、北海道（1 月末実績）青森（1 月末実績）岩手（11 月末実績）宮城（1 月末実績）

秋田（2 月末実績）山形（3 月末予想）福島（1 月末実績）新潟（3 月末予想）における数値。

※H15 年度・H16 年度は、調べなし。

(5) 各構成団体からの問合せ・相談等への対応
(上海)

平成 15 年度	<ul style="list-style-type: none"> ①北海道の地震に対するフォロー（北海道経済連合会） ②マスコミ（北海道）取材への協力（北海道経済連合会） ③「東北フェア in 上海」のサポート（事務局／宮城県国際経済室） ④上海・魯迅記念館の調査（宮城県） ⑤外国語版ビデオの反応についてのヒアリング（新潟県） ⑥マスコミ報道の確認（新潟県） ⑦雑誌記事の反応についてのヒアリング（新潟県）
平成 16 年度	<ul style="list-style-type: none"> ①「北海道職員外国派遣研修」への業務サポート（北海道） ②上海における観光事情についての講演依頼（北海道経済連合会） ③「魯迅ゆかりのまち・仙台展 in 上海」への業務サポート（宮城県） ④「東北フェア in 上海」観光セミナー・商談会への業務サポート （事務局／宮城県国際経済室） ⑤福島県上海事務所開設への業務サポート（福島県） ⑥上海大手旅行社訪問に当たっての業務サポート（福島県）
平成 17 年度	<ul style="list-style-type: none"> ①北海道表敬訪問アテンド（北海道） ②北海道貿易物産振興会資料翻訳（北海道） ③JNTOが支援するツアーに関する対応（青森県） ④青森ブランド in 上海関連業務支援（青森県） ⑤青森県表敬訪問アテンド（青森県） ⑥岩手県表敬訪問アテンド（岩手県） ⑦大連旅遊展示会関連業務支援（宮城県） ⑧観光説明セミナー商談会プロデュース（宮城県） ⑨広之社主催教育旅行への対応（宮城県） ⑩知事ミッション関連業務対応（福島県） ⑪メディア&エージェント招聘事業関連支援（福島県） ⑫知事ミッション（上海観光セミナー商談会）関連業務支援（新潟県） ⑬知事ミッション（蘇州・杭州旅行社コーディネート）支援（新潟県） ⑭旅行社招聘事業関連支援（新潟県） ⑮上海ミッションアテンド（新潟県） ⑯反日デモ状況報告（共通） ⑰YOKOSO! JAPAN 夏事業 対応（共通） ⑱東北ムービングマップ対応（共通） ⑲東北セミナー・交流商談会プロデュース（共通） ⑳国慶節期旅行社調査（共通） ㉑観光素材としての美術館の可能性ヒアリング（共通） ㉒上海城市酒店赴日団インセンティブツアーでの東北紹介（共通） ㉓広東省大手旅行社への東北プロモーション（共通） ㉔広東省「文化旅遊フェスティバル開幕式」への参加（共通）

	<ul style="list-style-type: none"> ㉓ 上海世界旅遊資源博覧会ブース手配（共通） ㉔ 上海世界旅遊資源博覧会セミナー手配（共通） ㉕ 東北運輸局対応（共通）
平成 18 年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 北海道外国人観光客アンケート（北海道） ② 北海道ホテル御前水・上海旅行エージェントへのアポ・アテンド（北海道） ③ 春節・国慶節等旅行社調査等の資料提供依頼（北海道） ④ 観光会議北海道への情報掲載の可否について（道経連） ⑤ 広之旅販促会・岩手県出展問合せ（岩手県） ⑥ 千歳観光連盟よりメールニュースに関する問合せ ⑦ 上海企業からの宮城県に立地するブレーカー工場見学依頼 ⑧ C I T M観光セミナー ⑨ 上海メディアからの北海道・東北に関する問合せ ⑩ G W中国旅行社日本ツアー調査 ⑪ 上海市・広東省修学旅行に関する資料提供依頼 ⑫ 広東国旅・夏祭りツアーコース提案依頼 ⑬ 現地旅行社からの不老不死温泉に対する問合せ ⑭ 広之旅造成ツアーに対するプロモーションオフィスの推薦依頼

(台北)

平成 15 年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 台湾ミッション団の訪問先のアポイントメント（山形県） ② 県産品・説明文の翻訳 1（福島県） ③ 県産品・説明文の翻訳 2（福島県） ④ 県・概要の翻訳（福島県） ⑤ 台湾ミッション対応業務（福島県） ⑥ 送付状の翻訳（新潟県） ⑦ 雑誌記事の反応についてのヒアリング（新潟県） ⑧ 外国語版ビデオの反応についてのヒアリング（新潟県） ⑨ 現地旅行会社からの資料請求（台湾・大興旅行社）
平成 16 年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 東北ウェルカムカードのリーフレットPR（事務局／岩手県） ② 台湾誘客ミッション業務サポート（秋田県） ③ 新潟県産「梨」販促活動についてのプレスリリースサポート（新潟県） ④ 台湾ミッション（V J C）派遣事業 1（事務局／東北広域観光推進協） ⑤ 台湾ミッション（V J C）派遣事業 2（事務局／東北広域観光推進協）
平成 17 年度	<ul style="list-style-type: none"> ① スノーフェスティバル対応（北海道） ② I T F 用プレス案内翻訳（北海道） ③ セミナー&懇談会開催準備業務（岩手県） ④ T V C M スポット 枠取交渉（宮城県） ⑤ T V C M 企画業務（宮城県） ⑥ T V C M 視聴率調査準備（宮城県）

	<ul style="list-style-type: none"> ⑦台湾・台南キャンペーン準備業務 1 (宮城県) ⑧台湾・台南キャンペーン準備業務 2 (宮城県) ⑨オーロラビジョン企画資料作成業務 (宮城県) ⑩泥湯温泉についての台湾報道ヒアリング (秋田県) ⑪旅行社訪問アテンド 1 (山形県) ⑫旅行社訪問アテンド 2 (山形県) ⑬栃木・南東北キャンペーン イベント企画 (山形県) ⑭小林綾子「おしん」記者会見アテンド業務 (山形県) ⑮商談会&セミナー&懇親会開催対応 (福島県) ⑯台湾現地セールス資料翻訳 (福島県) ⑰教育旅行プログラム資料翻訳 1 (福島県) ⑱教育旅行プログラム資料翻訳 2 (福島県) ⑲スカイライン・浄土平PR資料翻訳 (福島県) ⑳福島県紹介資料翻訳 (福島県) ㉑事務所移転案内翻訳 (福島県) ㉒チャーター便告知新聞広告掲載関連業務 1 (新潟県) ㉓チャーター便告知新聞広告掲載関連業務 2 (新潟県) ㉔YOKOSO! JAPAN 夏 関連業務 (5ヶ月間) (共通) ㉕GOGO JAPAN (東北広域テレビ宣伝) 対応 (共通) ㉖旅行社・航空会社訪問手配 (共通) ㉗自由時報 広告掲載業務 (共通) ㉘東北物産展&商談会&観光展 対応業務 (9ヶ月) (共通) ㉙観光協会関係者調査 (共通) ㉚台湾新聞媒体調査 (共通)
平成 18 年度	<ul style="list-style-type: none"> ①青森県観光誘致協議会台湾ミッション対応依頼 (青森県) ②宮城県蔵王観光案内翻訳依頼 (宮城県) ③タイペイ事務所訪問 (秋田県) ④秋田県観光連盟からの観光PRグッズに関する依頼 (秋田県) ⑤福島県観光連盟独立・移転案内文書 翻訳依頼 (福島県) ⑥台湾教育旅行お礼状翻訳依頼 (福島県) ⑦台湾旅行ガイドブックについての調査 (福島県) ⑧昭安旅行社からの天童温泉に関する情報提供依頼

(6) 調査報告業務

◇定期報告書

北海道・東北プロモーションオフィス（上海・台湾）では毎月1回、業界動向、海外旅行動向、訪日旅行商品の概要、新聞や雑誌掲載の北海道・東北情報、北海道・東北地域への提案等を掲載した定期報告書を作成した。

◇不定期報告書

北海道・東北プロモーションオフィス（上海・台湾）では適宜、現地旅行会社等への訪問記録を作成し、配信した。

Ⅱ. 広域観光のあり方に関する検討部会

「観光」を今後の「戦略産業」と位置づけ、その振興により地域経済の活性化を目指す自治体、ならびに民間団体が多い中であって、より効果的で効率性の高い取り組みに繋げるために、官民が一体となり、従来の行政単位を越えた「広域観光戦略」を策定し、『北海道・東北未来戦略会議』に提案することを目的とする。

1. 広域観光のあり方に関する検討部会の開催状況

- (1) **第1回検討部会**（平成18年 7月12日／仙台市・セントレ東北10階）
 - ◇「広域観光のあり方に関する検討部会」の設置等について
 - ◇「北海道・東北、ならびに東北における広域観光戦略」について
 - ◇「北海道・東北、ならびに東北における事業」について
- (2) **第2回検討部会**（平成18年 9月19日／仙台市・セントレ東北10階）
 - ◇「広域観光のあり方に関する検討部会」中間報告（案）について
 - ◇ほくとうトップセミナーにおける合意事項について
- (3) **第3回検討部会**（平成19年 3月16日／仙台市・ホテル仙台プラザ）
 - ◇「広域観光のあり方に関する検討部会・最終報告（案）」について
 - ・北海道・東北地域の広域観光事業について
 - ・東北の観光戦略について

2. 「広域観光のあり方に関する検討部会 最終報告」について

- ◇「広域観光のあり方に関する検討部会」は、「北海道・東北未来戦略会議」における14の構成団体の課長クラスならびに関係団体等の実務責任者をメンバーとして、次の2つを目的として7月12日に設置された。
- ◇本部会での検討事項の一つ目は、北海道・東北地域の広域観光事業の検討である。本検討部会では、北海道と東北の両地域が共に連携することで、それぞれの地域への観光客の増加に寄与する事業を中心に検討を行った。
- ◇二つ目は、東北地域が一体的に取り組む観光戦略の検討である。本検討部会では、東北地域の官民が一体的に取り組むことで、東北ブランドの構築やリピーターの確保等につながる観光戦略を検討するとともに、既存の広域観光団体機能の集約等による推進体制の整備についても検討を行った。
- ◇本検討部会による最終報告では、北海道・東北地域の官民の関係者が連携しながら、北海道・東北地域においては、それぞれの地域への観光客増加に向けた事業の具体化が図られ、東北地域においては、観光戦略の策定と推進に向けた体制について、検討を進めてきたものである。

（詳細については、別添資料を参照のこと。）

Ⅲ. ほくとうトップセミナー

北海道・東北地域の官民のリーダーが一堂に会し、地域が抱える諸課題について活発な意見交換を行うことにより、お互いの共通認識を醸成するとともに、本地域における今後の発展戦略を立案ならびに推進することを目的として開催した。

1. 開催要領

◇開催場所：札幌市 京王プラザホテル札幌 「扇の間」

◇開催日時：平成18年11月7日（火）17：00～20：00

8日（水）08：30～11：00

◇次第：《11月7日》

□開会挨拶 会長 寺田典城 秋田県知事

□基調講演 「今後の観光振興－広域観光の推進に向けて」

講師：（社）日本ツーリズム産業団体連合会会長

船山龍二 氏

□懇親会

《11月8日》

□意見交換会 ～広域観光の推進に向けて～

・「広域観光のあり方に関する検討部会中間報告」

～その他～

□記者会見

2. 合意事項

（1）北海道・東北地域への観光客増加に寄与する事業の検討（北海道・東北の合意事項）

今後、「北海道の大自然」や「東北地域の日本の原風景」など魅力ある観光資源を有効に活用して、教育旅行やシニア世代旅行客の誘致、外国人観光客の誘致のための共同観光ルートの開発等について、2006年度末まで、「広域観光のあり方に関する検討部会」の場で、引き続き検討する。

（2）東北の官民が一体的に取組む観光戦略の策定（東北の合意事項）

今後、東北の官民が一体的に取組むことで、東北ブランドの構築やリピーターの確保等に繋がる「東北観光戦略」を、東北地域の関係者の協議により、2006年度末までに取りまとめる。

（3）既存の広域観光団体の統合等による推進体制の整備（東北の合意事項）

東北地域の2つの大きな広域団体である「東北六県観光推進協議会」や「東北広域観光推進協議会」等の機能を集約した、東北の観光戦略を推進する総合的な役割を担う新組織（「東北観光推進機構」（仮称））を2007年度以降出来るだけ早い時期に立ち上げるための「協議の場」の設置を、東北地域の関係者に働きかける。

3. 「合意事項」に対する検討状況について

【会議開催状況】

A. 北海道・東北の合意事項に関して

(1) 第3回「広域観光のあり方に関する検討部会」

- ◇「広域観光のあり方に関する検討部会・最終報告（案）」について
(平成19年 3月16日/仙台市・ホテル仙台プラザ)

B. 東北の合意事項に関して

(1) 第1回「東北観光推進機構(仮称)設立準備会に向けた」事務局会議

- (平成18年12月18日/仙台市 セントレ東北10階)
- ◇「東北観光推進機構(仮称)設立準備会」の設置等について
- ◇東北が一体となって取組む事業について
- ◇「東北観光推進機構(仮称)」の機能・組織体制について

(2) 第1回「東北観光推進機構(仮称)設立準備会に向けた」ワーキング会議

- (平成18年12月26日/仙台市 セントレ東北10階)
- ◇東北が一体となって取組む事業について

(3) 第2回「東北観光推進機構(仮称)設立準備会に向けた」ワーキング会議

- (平成19年 1月 9日/仙台市 セントレ東北10階)
- ◇東北が一体となって取組む事業について

(4) 第2回「東北観光推進機構(仮称)設立準備会に向けた」事務局会議

- (平成19年 1月16日/仙台市 セントレ東北10階)
- ◇「東北観光推進機構(仮称)」における事業・予算(案)について
- ◇「東北観光推進機構(仮称)」における負担金について
- ◇「東北観光推進機構(仮称)」の機能・組織(案)について

(5) 第1回 東北観光推進機構(仮称)設立準備会

- (平成19年 1月17日/仙台市 ホテルメトロポリタン仙台)
- ◇講演「東北観光推進機構(仮称)」に期待されること～中間報告を受けて～
講師：株式会社ジェイティビー常務取締役 清水慎一 氏
- ◇「東北観光戦略」の取りまとめについて
- ◇「東北観光推進機構(仮称)設立準備会」の設置等について
- ◇「東北観光推進機構(仮称)」における事業・予算(案)について
- ◇「東北観光推進機構(仮称)」における負担金について
- ◇「東北観光推進機構(仮称)」の機能・組織(案)について

(6) 第3回「東北観光推進機構(仮称)設立準備会に向けた」事務局会議

(平成19年 2月 6日/仙台市 セントレ東北 8階)

- ◇「東北観光推進機構(仮称)における取組み」について
- ◇「東北観光推進機構(仮称)における事業・予算(案)」について
- ◇「東北観光推進機構(仮称)における負担金(案)」について
- ◇「東北観光推進機構(仮称)への人員派遣」について

(7) 第2回 東北観光推進機構(仮称)設立準備会

(平成19年 3月16日/仙台市 ホテル仙台プラザ)

- ◇「東北観光戦略」のとりまとめについて
- ◇「東北観光推進機構(仮称)」の設立について
- ◇「東北観光推進機構(仮称)」設立までの手順等について

【検討状況】

(1) 北海道・東北地域への観光客増加に寄与する事業の検討 (北海道・東北の合意事項)

- ◇「広域観光のあり方に関する検討部会」において、北海道・東北地域への観光客増加に寄与する事業として、外国人観光客誘致に向けた共同観光ルート「北海道・東北 広域観光ルート」の開発等を取りまとめた。

(詳細は、別添資料を参照のこと。)

(2) 東北の官民が一体的に取り組む観光戦略の策定 (東北の合意事項)

- ◇「東北観光推進機構(仮称)」設立準備会を立上げ、関係者により「東北観光戦略」を取りまとめた。

(詳細は、別添資料を参照のこと。)

(3) 既存の広域観光団体の統合等による推進体制の整備 (東北の合意事項)

- ◇「東北観光推進機構(仮称)」設立準備会のもと、東北の広域観光推進体制について合意した。

(詳細は、別添資料を参照のこと。)

IV. ホームページの運営

北海道・東北地域における官民による広域連携について紹介するため、ホームページの運営について、内容の充実強化を図った。

1. ホームページのリニューアルについて

「北海道・東北21世紀構想推進会議」から「北海道・東北未来戦略会議」へと改組したことに伴い、既存ホームページのリニューアルを実施し、「ほくとう戦略会議」へ移行させた。(開設は2007.03.15)

(ホームページ「ほくとう戦略会議」の概要については別紙を参照。)

2. 『中国短信』の掲載について

中国・遼寧省政府と日中初の合弁のシンクタンク(遼寧中旭智業有限公司)を設立した「株式会社旭リサーチセンター」に業務委託を行い、中国国内における経済動向や東北振興の現状を報告する当会向け定期機関誌『中国短信』を構成団体に年4回配信するとともに、ホームページに掲載した。

【中国短信】

◇6月号

- (1) 経済動向：2006年3月期
- (2) ハイライト：生産能力過剰リスク・外資優遇の見直し・知的財産権問題
- (3) 東北振興：瀋陽花博・遼寧省「五点一線」建設

◇9月号

- (1) 経済動向：2006年6月期
- (2) ハイライト：不動産市場調整・消費刺激・循環型経済
- (3) 東北振興：中国経済 第4の極を目指す瀋陽

◇12月号

- (1) 経済動向：2006年9月期
- (2) ハイライト：エネルギー問題・外資M&A・産業構造高度化
- (3) 東北振興：製造業博覧会・瀋陽地下鉄・遼寧中部経済圏

◇3月号

- (1) 経済動向：2006年は4年連続の2桁成長
- (2) ハイライト：環境問題、新農村建設、マクロ経済
- (3) 東北振興：対ロシア辺境貿易が拡大